

大分県要約筆記サークル

陽ざしの会

第 74 号

発行日 平成 26 年 7 月 19 日
発行所 大分県要約筆記サークル

「陽ざしの会」

発行者 森崎 裕香子

事務局 野上 千賀子

(Tel.097-532-6850)

(HP hizasiweb.fc2.com)

お互いの立場を思いやって

「アノニム」「アノニム」「アノニム」

平成26年度定期総会開催

「陽ざしの会」平成26年度定期総会が、4月19日(土)午後1時から大分県総合社会福祉会館において開催され、総会員53名のうち45名(委任状15名)が出席し、総合司会牛島尚子さんの司会で進められた。

最初に森崎裕香子会長から「本年度も気遣いのある情報保障活動を進める」旨の挨拶があり、引き続きご来賓の大分県聴覚障害者理事 宮崎恵子様、大分県難聴協会事務局長 小倉鉄郎様から本総会へのご祝辞を頂いた。

議事に入り、議長に池辺恵子さんが選任され、議案に従い平成25年度活動経過報告・会計決算報告が行われ、承認された。引き続き平成26年度活動計画・予算(案)が提案され、承認された。

続いて役員を選出が行われ、次の方々が承認された。総会は午後2時半終了した。

〔新役員〕 会長:森崎由香子・事務局:野上千賀子・会計:間藤勝美

〔各部長〕 研修部:(手書き)朝山美果(パソコン)平野美佐子

企画部:久保田安紀 広報部:三重野真由美



会長 森崎 裕香子

雑草の中に1～2本のヒメヒオウギズイセンが咲いています。濃い朱色が緑の中に浮き上がって見えます。

大分県要約筆記サークル「陽ざしの会」26年度の総会が4月19日に会員の方々のご協力により開催されました。率直なご意見をいただき、今後の活動に取り入れていきたいと思っています。総会の御来賓に大分県聴覚障害者協会宮崎恵子理事、大分県難聴者協会小倉鉄郎事務局長の御出席をいただきました。お二人の御祝辞はサークルが活動する上での糧にしていきたいと思います。

全国統一要約筆記者認定試験が大分県でも行われるようになりました。要約筆記利用者の方に、よりよい支援をする為の技術や知識を学ぶ目標の1つにと私自身は考えています。陽ざしの会では昨年同様、周知事業を本年度も行います。会員の方々はもとより関係機関の方々のご助言、ご協力をお願いします。

事務局 野上 千賀子

事務局を担当して5年目になります。毎年、少しずつ役員が交代していますが、どの方もそれぞれの力を発揮してくれ、7人寄れば文殊の知恵、で新しい発想が産まれます。当会の役員、専門部体制は、独立性が高く、よく機能していると思います。したがって事務局の役割は月例会や、学習会、その他行事などの連絡をみなさんにお知らせすることが主です。主要な活動は広報部、研修部、企画部がきちんと担ってくれています。それはつまりそれぞれの部に属している会員の皆さんが協力的であるということだと思います。感謝を申し上げるとともに、今後ともご協力よろしくをお願いします。

会計 間藤 勝美

会計2年目になります。今年も経費の面でお手伝いしていきますので、皆さんどしどしアイデアをお寄せください。あんなことしたい、こんなこともしたい、と何でもあります。アイデアをお待ちしています。

手書き研修部長 朝山 美果

今年度手書き研修部の部長になりました。朝山です。今までなかなか活動に参加できなかったのですが、たまに参加した時でもいつも思うことは「陽ざしの会って居心地がいいな」ということです。みんなで励ましあいながら学習をすすめるところ。相手を思いやるところ。気さくに声を掛け合うところ。こんな雰囲気が好きです。この良い雰囲気を活かして学習会を進めていけたらいいなと思います。心強い研修部のみなさんの力をお借りしながら1年間がんばりますので、よろしくお願いします！



パソコン研修部長 平野 美佐子

パソコン研修部、部長の平野です。今年も手書き研修部と一緒に学習会をやっていきます。パソコンは、新人の方も多く入り、心強く思っています。経験者の方も、1カ月に1度の学習会ですので、なるべく参加していただき、少しずつでも向上していけるように皆で楽しく、厳しく、仲良く活動していきたいと思っています。今年1年、よろしくお祈りします。



企画部長 久保田 安紀

こんにちは。企画部長の久保田です。陽ざしの会に入会して4年、企画部長になり2年目です。企画部は学校でいうとリクレーション係のような存在です。今年も楽しい企画を考えていきたいと思ひます。新会員になられた皆さんはいろいろな行事に参加し、知り合いをたくさんつくってくださいね。お待ちしております。

広報部長 三重野 真由美

今年度も、みなさんに興味深く読んでいただけるよう広報部員一同がんばっていきます。こんなことを載せたら、というアイデア・情報・ご感想も募集中です。陽ざしの会のHP、ブログもアップしていますので広報紙同様ご覧ください。(大分県要約筆記サークル陽ざしの会で検索してください。) 1年間よろしくお祈りします。

平成26年度

活動計画	研修		企画・広報	行事予定
	午前 (10~12時)	午後 (14時~16時)		
5/17 スタジオ		(障スポ対応) ホワイトボードを使って		5/17 (土) 18 (日) 5/1 (日) 県障害者スポーツ大会
6/21 会議室	(手書き) OHP チームワーク	(手書きパソコン合同) 要約のトレーニング		
7/19 会議室	(パソコン) チームワーク 前ロール	(手書きパソコン合同) 要約のトレーニング	ビアパーティ 第74号発行	7/20(日) 登録要約筆記者研修会
8/16	お盆休み			8/31 (日) 10時~16時 講習会 [Eメール機器を使った情報保障]
9/20 AM ミニシアター PM 研修室	(手書き) OHC チームワーク	(手書きパソコン合同) 要約のトレーニング		
10/18 (会館) 視聴覚室		13時~ 合同学習会 (まなざし・陽だまり)	交流会	
11/15 会議室	(パソコン) 前ロール	(手書きパソコン合同) 要約のトレーニング	第75号発行	
12/20 研修室	(手書き) ノート作り	(手書きパソコン合同) 要約のトレーニング		
1/17 会議室	(パソコン) セキュリティ	(手書きパソコン合同) 要約のトレーニング		1/11(日) 登録要約筆記者研修会
2/21 (会館) 視聴覚室		合同学習会 (統一試験対応)		2/ 全国統一要約筆記者認定試験
3/21 研修室		13時~ 会員交流会	第76号発行	

平成26年度大分市ボランティア連絡協議会総会

開催される



平成26年5月19日午前10時からホルトホール大分にて、119団体の会員が出席し標記の総会が開催された。

議題の、平成25年度事業・決算報告及び同26年度事業計画・同予算(案)並びに役員改選が提案され、満場一致で承認された。

なお、総会資料の中で、平成25年11月20日に開催された「会員研修会」における「陽ざしの会」の活動発表が紹介され、また、同研修会には由布市ボランティア連絡協議会 日野 恵会長が出席された旨記されていた。

引き続き、大分県消費生活相談スーパーバイザー村上美佳子氏による「悪徳商法の被害に合わないために」と題した講演が行われた。趣旨は次のとおりである。

「大分県内では、最近でも『おれおれ詐欺』などの被害が発生している。困ったことがあったら、直ぐに、県消費生活センターに相談されることが必要である。」 (望月)



陽ざしの会のあゆみ

会の運営(おのび)

児玉 幸代

前号に続き、「会員同志がなんでも話せる会」を何度か持つうちに、皆同じ悩みを抱えていたのだ。お互いに自分ひとりではない。との思いが分かりあえたのか、皆さんの顔が少しずつ明るくなって、更に話し声も聞こえはじめ、河野さんと私はほっとしたのですが、思えば三年前、要約筆記の養成講座を受講した各位は、真剣な意気込みで入会したものの、そこには確固とした活動の場があるわけでもなく、その実態は何もかもゼロからの出発でした。

その後の経過は、これまでに書いて来ましたが、実は会の発足後、会長の中嶋さんが一年余りで転居なされ、その後もずっと会長の名を残したまま、こちらから、活動の骨子を知らせ、会長さんの指導を受けながら、それぞれの係りに通達しては、活動を続けて来ましたが、その時既に、発足当初の運営組織はすたれ、役員の殆んどが退会をしたのです。

会長さんが転居された時の事は、以前も書きましたが、あの時以来、この会を絶対に絶やさないようにと、思う人達の努力で活動を続けて来たのですが、いつか限界を感じたのでしよう。

「会長や書記局不在では、やはりまとまりがつかず、活動しにくい。」との要望が多く、前述の如く平成四年の総会を機に、会の組織を整えて活動を始めたのですが、これまでの不満が、会を愛する気持ちになって、吹き出たものだったのか。とも思ったりします。

第9回大分県障がい者スポーツ大会 開催

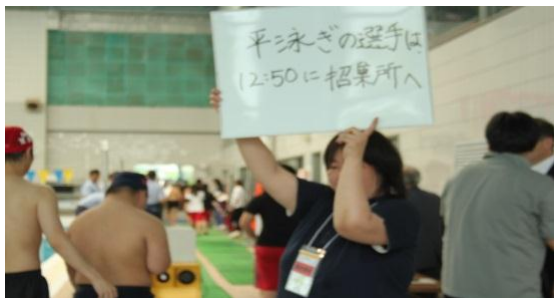
9回目を迎えた今大会には、県内17市町村から1100名余りの申込みがあり、5/17(土)卓球、18(日)水泳、6/1(日)陸上・フライングディスクの各競技が行われました。

各会場において、当会の会員多数が情報保障ボランティアとして参加しました。

卓球 濱田桂子



機材の使えない場所での情報保障について講座で学習していましたが、実際に大会で活動するのは初めてで、教えていただきながらの活動でした。前年の資料を活用しつつの準備と本番の対応などの打合せが重要だと思いました。大きなホワイトボードをイーゼルに設置しての情報保障を行いました。素早く書きやすく、閲覧者からも見やすかったのではないかと思います。急な不参加者のため要約筆記者の方が多くなりましたが、要約筆記の周知活動の一環になったのではないかと思います。



水泳 井口美和子



要約筆記者4名で開始式、競技、表彰式、閉会式の対応を行いました。挨拶文以外はホワイトボードへ筆記を行いました。役割分担は「筆記者」「見せる人」「消す人」とし、種目ごとにローテーションを行いました。常に緊張していて、あっという間に時間が過ぎました。今回、自分の要約筆記を障害者の方に読んでいただき、要約筆記を勉強していて良かったと実感

しました。反省点は沢山ありますが、実地での経験はなによりだと思いました。

陸上 小野和子



真夏の様な暑さの中、障スポに初参加。屋外でホワイトボードでの要約筆記、移動しながら見やすい字で書き、提示することの難しさを痛感しましたが、アスリートには無縁の私が広いドームの競技場に入れたのは貴重な経験でした。

フライングディスク 望月博



「だいぎんグラウンド」に於いて午前10時30分からディスタンス(距離)競技に140名が、午後1時10分からアキュラシー(正確性)競技に210名の選手が参加し、熱戦が繰り広げられた。選手たちは異常な暑さの中、やや強い風に悩まされながら懸命に技を競った。要約筆記者5名は、召集・表彰担当として協力した。屋外会場での活動であり、体力的にも消耗したが、競技終了後の選手たちの爽やかな笑顔に、疲れも吹き飛んだように思える。



要約筆記の勉強部屋 Part-VII

～筆子の覚書～



今年度も好評(?)につき、引き続き筆子が勉強部屋を担当いたします。よろしくお願いいたします。さて、今年度は福祉の勉強を深めていきたいと思っています。

身近なようで身近でない福祉。最近はテレビでも色々と話題があがっていますが、今回は障がい者の雇用について勉強していきましょう。

障害者雇用促進法とは

正式名称「障害者の雇用の促進等に関する法律」
1960年7月に障がい者の雇用の安定と促進について定められた法律で、対象は障がい者と企業。



事業主に 対する措置	雇用義務制度	障害者雇用率に相当する人数の身体障がい者・知的障がい者の雇用を義務づける。(2018年4月からは障害者手帳を持つ精神障がい者の雇用が義務づけられる。) 2013年4月より雇用率がそれぞれアップし、民間企業の従業員規模が56人以上から50人以上に拡大された。
	納付金制度	障がい者の雇用に伴う事業主の経済的負担の調整を図る。雇用が不足している企業は、一人月額5万円を納付、超過している企業には一人2万7千円調整金が支給される。 2010年7月から、常時雇用している労働者数が200名を超える中小企業が申告の対象となったが、2015年4月からは、100名を超える企業にも制度の適用が拡大される。
障がい者本人に 対する措置	職業リハビリテーションの実施	地域の就労支援関係機関において、障がい者の職業生活における自立を支援する。 就労支援関係機関：ハローワーク、地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター

ぶんどり梅

映画「グレン・グールド
天才ピアニストの愛と孤独」を観て

間藤 勝美

グールドは1932年カナダ・トロントで生まれた。1946年、トロント王立音楽院を最年少の14歳、最優秀で卒業。同年同市でベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番第1楽章の演奏でコンサート・デビューを果たす。

23歳、NYで録音した初アルバム、バッハの「ゴルドベルク変奏曲」が、斬新な解釈、画期的な録音と演奏で1956年のクラシック・レコードの売上ベストワンを記録。一躍時代の寵児になる。

奇抜な演奏スタイルは有名で、演奏前は手をお湯で30分温め、35cm高の異常に低い「グールド専用」椅子を常に携帯（鍵盤に手を置くのではなく、鍵盤の上に乗せるスタイル）し、この椅子以外での演奏は拒否した。

1964年、32歳の人気絶頂期に活動を中止。以降、演奏会・録音・文筆活動に専念。トーマス・マン『魔の山』、夏目漱石の『草枕』を愛読したという。1982年脳卒中により急逝。

皆さんも是非、なんて言いません。ただ、彼は真夏でも手袋は手放さなかつたのです。

ぶんどり梅は創刊以来続いている会員のエッセーです。



大分県要約筆記サークル「陽ざしの会」主催
パソコン要約筆記技術習得講習会

モバイル機器を使った情報保障

情報保障とは？・・・さまざまな原因がもとで、受け手が情報をスムーズに受け取れないとき、受け取りやすい形に情報を変換し伝えることです。



「モバイルって何？」という素朴な疑問をお持ちの方にも参加していただける講習会です。

日時 2014年8月31日(日) 10時～16時
場所 大分県聴覚障害者センター 2階研修室
大分市大津町1丁目9番5号(097-551-2152)
講師 さとうただし 佐藤匡氏
(吉備国際大学社会学部ビジネスコミュニケーション学科教授、
全国要約筆記問題研究会理事)

午前の部・・・スマホ、タブレット、無線LAN、Wi-Fi(ワイ・ファイ)、ルーター、WiMAX(ワイ・マックス)、SIM(シム)カードなど、基本的な用語の解説と、遠隔情報保障に必要な機器やセキュリティ、通信契約等について学びます。
午後の部・・・遠隔情報保障の実際を実演していただき、一部参加者が体験します。

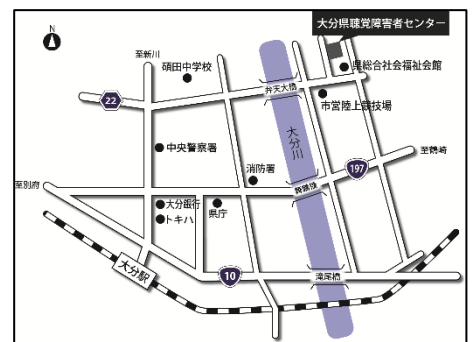


要約筆記とは？・・・人生の途中で聴力の低下がすすんだ人や、まったく聞こえなくなった人に、聞こえてくる音情報を文字に変えて示し、その場のコミュニケーションを保障する手段です。

参加費 無料

【連絡先】

大分県要約筆記サークル「陽ざしの会」事務局 野上
電話&ファクス 097-532-6850 携帯 090-1160-3679
メール hizasinokai@gmail.com
(準備の都合上、参加を希望される方は上記にご連絡ください)
(駐車台数に限りがあるため、公共交通機関のご利用をお願いします)



この事業の一部には赤い羽根共同募金の助成金が充てられています。

新人さんの紹介

①



河井 美恵さん

趣味:読書、手芸、
ガーデニング
抱負:技術を高めて

現場に立てるようになりたいと思います。
お知らせ:久しぶりに演奏活動を、と大分市美術館の「美術館で音楽会」に応募しました。
9月13日(土)14:30~15:15 ギタリストの竹内竜次さんの伴奏でグラナドスの「昔風のスペイン歌曲集」を歌います。竹内さんのギター独奏もあります。
ぜひ聞きにきてください。

朝木 由美子さん



小学校の放送部で、給食時間の学級紹介担当でした。うっかり次の予約を忘れ、本の朗読で穴埋めが度々…ところが、廊下ですれ違った先生から一言、「本を読むのが上手ねえ。」またある時、学級会議で議長の私が板書中の書記に、発言をちょっと要約して伝えたのを横にいた担任の先生が褒めてくれて。そんな経験のおかげで、勇気をもって「要約筆記」の門をたたきました。
障スポでは水泳に参加し、大会の一部として要約筆記が機能する充実感も体験できました。パソコンでもできるチャンスがあるといいなと感じました。

梅崎 照美さん



趣味:ワンコ(永遠の3歳児)を連れてドライブ
抱負:etc…私

はPCコースで勉強をしてきました。要約筆記とはこんなに難しいものとは思わず、以前、講習会手書きの方々を見てPCなら私にも出来るかも…なんて甘い考えで始めたのですが講習会に通うたび知らなかったことを学び、中途失聴者の方の不自由さも知りました。そして、先日初めてボランティア活動に参加障がい者スポーツ大会でホワイトボードを使っての要約筆記。初めはどこへ向けたらいいのかわかりませんでした。先輩の指導のもと、立ったり座ったり書いたり消したりと大変な仕事だと実感しながら、ホワイトボードを見てくださっていることがわかるとすごく嬉しくなりました。また機会を見つけて参加していきたいと思います。
皆様、どこかでご一緒させていただいた際にはよろしくお願ひします。

編集後記

平成25年度のイオン幸せの黄色いレシートキャンペーンでの贈呈金は、高城店78,100円、フォーラス店26,000円でした。書籍などの購入に使わせていただいています。
今年度も毎月11日のイオンデーのレシートを例会にお持ちください。
ご協力をお願いいたします。